



連携型中高一貫教育講演会

「言葉」は自分を輝かせるために！

11月30日（水）、明峰中・小瀬高の全校生徒を対象に、連携型中高一貫教育講演会を開催しました。今回は、講師として、茨城放送編成事業部アナウンス室長の菊地真衣さんをお招きしました。

講演では、アナウンサーになりたいと思ったきっかけをお話してくださいました。小学校時代の放送委員会での出来事や就活でアナウンサーへの道に一度挫折した経験など、失敗談も交えながらお話をしてくださいました。また、就活を一度休んでいた時期に、父から「真衣の話を知っていると、本当にその場所に行っているみたいだ」と言ってもらえたことで、「言葉で人をどこにでも連れていけるような人間になりたい」と自分の目標を明確にし、アナウンサーへの道に再挑戦したことなども話してくださいました。



キャリア教育にもつながるお話を、ご自身の体験談を交えながら語っていただきました。

お父さんからの言葉で自分の目標を再確認し、チャレンジできたというお話から「勇氣」をもらいました。

次に、茨城放送のアナウンサーになってから直面した「アナウンサーの難しいポイント」について、お話をしてくださいました。声だけで自分が見ているまを相手の頭の中にも描いてもらえるように話さなければならない点、多くの人間が聴いていることから、誰かを傷つけることがないように、配慮しながら発言をしなければならない点など、普段の仕事で気をつけている点を教えてくださいました。



講演会終了後の質問タイムでは、たくさんの生徒から質問がありました。菊地さんのお話からいろいろなことを感じたのでしょうか。

講演の最後には、「人を傷つけるために使うのではなく、自分を輝かせるために『言葉』という武器を使ってほしい！」という、言葉を扱う仕事である「アナウンサー」ならではのメッセージをいただきました。

生徒からは、「アナウンサーという素晴らしい職業に就いている菊地さんが、失敗談をざっくばらんに話してくださいと、親しみを感じながら講演を聞くことができた」「人とのコミュニケーションをとるのがあまり得意ではないので、菊地さんの相手との距離を縮めるコツが参考になった」「『言葉は凶器にもなる』という言葉が強く刺さった。相手を傷つけるのではなく、幸せにできるような言葉の使い方を心がけたい」といった感想が寄せられました。

No Challenge No Future